

小中一貫教育推進だより

つながる

平成 24 年 6 月 20 日 No. 14

十日町市教育委員会学校教育課



取組の質が高まる

学校教育課小中一貫教育推進係
嘱託指導主事 平野久美

梅雨の真っ最中です。雨の恵みを受けて、ジャガイモの花が、いっそういきいきとして見えます。「馬鈴薯のうす紫の花に降る 雨を思へり 都の雨に」今年石川啄木没後 100 周年にあたるといいます。学校では、修学旅行、自然教室、陸上大会等と雨の具合が気になる行事が続いています。

試行 2 年目の今年、春以来、モデル中学校区の取組を見せていただき、嬉しい変化に気付かされます。「つながる」No. 6 号に「取組の質を高める」ということに触れましたが、正にその取組の質が昨年度より高まってきている様々な場面に遭遇するのです。

中学校区の小学 6 年生が合同の修学旅行をする川西中学校区では、「なかよし集会」という、修学旅行前後の交流活動を一堂に会して実施しています。第 1 回目の集会でのことです。隊長校長先生は、「なかよし集会」をしたその日を、小学校、中学校、高校に行っても、あるいは大人になってもという視点で「一生涯の友だちの始まりの日」という言葉で大切な意識づくりをされました。子どもはもとより、私自身もはっとさせられ、「本当にそうだなあ」と納得です。この中学校区で 17 年間も続いているこの活動のねらいを、子どもに「小中一貫教育」の視点から確かに意味付けてくれました。何を隠そう、この私も、かつて川西中学校区に勤務し、隊長役を担った経験があります。足元にも及ばない私の話であったと改めて反省しています。

その後、中学校の先生の指導のもと、運動を伴ったレク活動が行われました。その中でも「中学校で待っていること」「同じ学校同士で集まらないこと」「勇気を出して話してみると楽しい活動になること」等々、中学校への不安を取り除いて期待を膨らませたり、かかわりを深めるための配慮の言葉があったりと「小中一貫教育」の目からの指導をされていました。この先生は昨年も担当だったのですが、ぐんとグレードアップされました。こういったことが嬉しいのです。何のためにこの活動をするのかということをしつかり受け止め、活動のねらいに即した、更なる工夫が行われていたからです。

嬉しいことはまだまだ続きます。松代中学校区の第 1 回目の乗り入れ授業でのことです。中学校区の小学 6 年生が 1 つの教室で中学校の先生の授業を受けたり、小・中の先生の TT で授業を受けたりしていました。ここでは、指導案の「ねらい」と「評価」に「小中一貫教育」にかかわる視点が加えられ、「この勉強は中学校の～と関係がある」といった言葉掛けが意識して行われたり、子どもたちの話の聞き方にかかわって「しっかり前を向いて姿勢よく聞くこと」「楽しいことと自分勝手にやることは違うこと」「中学入学までに頑張ってもらいたいこと」等を子どもを誉めながらもしっかりと中学校職員としての立場からの指導をされたりしていました。紙面の関係で、詳しくあるいは他のモデル中学校区の例がお伝え出来ないのが残念です。

「急がず怠らず」とお願いしたことが、少しずつ、着実に実現しつつあることを、昨年雨の時期に小中一貫教育をスタートした頃に思いを馳せながら、私は今年の雨を感慨深く眺めています。



<その1> 中学校区の小中一貫教育にかかわる情報が、松代中学校のホームページに掲載されています。「中学校区の小中一貫教育の実施計画」「23年度の取組」のほか、4校の「人権、同和教育」「総合的な学習の時間」の指導計画もメニューに入っています。こんな確認、連携の仕方もあるのですね。ぜひ、覗いてみてください。

<その2> 下条中学校区では、今年も保護者向けのパンフレットが作られました。「小中一貫教育つながる窓」に掲載されています。取組概要をまとめ、保護者に伝える上で参考になります。また、職員の共通理解の一助にもなります。ご活用ください。

<その3> 松代中学校の長澤校長先生から、乗り入れ授業参観後のレポートが届きました。校長先生は、授業改善や学力向上に向けて皆さんに、次のような思いを伝えたいと、お難儀してくださいました。

①形だけ乗り入れ授業をやればいいのかではなく、小学校の学習が中学校の学習につながることを意識させる授業にしたいこと。

②児童生徒に「分かった」「できた」ということを実感させ、「もっとやってみよう」「もっとできるようになりたい」という気持ちにさせることが学習意欲を引き出し、必ず学力向上につながる。そうした授業ができるようになるためには、授業改善に向けて、全校体制で取り組むことを県は望んでいるが、最後は、一人一人の教師が客観的に自分の授業を見つめ直し、意欲的に変えていこうとする気持ちにならないと授業はいつまでも変えられないこと。

1頁目の、紙面の関係でと詳細を述べなかつた部分をも、レポートで詳しく伝えてくださっています。3ページ目をご覧ください。必見です。



しよっちゅう一貫
先進地に学ぶ

<平成24年度 先進地視察と講演会>

今年度は栃木県宇都宮市の先進的取組の視察を予定しています。また、講演会についても、宇都宮市から招聘します。講師は、宇都宮市立一条中学校の久保徹校長先生で、8月2日の午後をお願いしています。久保先生は、宇都宮市教育委員会指導主事、宇都宮市教育センター所長などを経て現職に在られます。「ベネッセ教育情報誌 [VIEW21 小学版] (2011・vol・4)」の対談に登場されていますので、ご存知の方もおいでと思います。たくさんのヒントがいただけると思いますので、今から日程を調整し、多数ご参加ください。視察の日時等は、現在調整中ですので、詳細が決定次第にお伝えします。

「分かった!!そうやってやればいいのか」
 ~乗り入れ授業の一コマから垣間見た授業改善に向けたヒント~

松代中学校長 長澤俊英

5月15日に今年度第1回目の6年生乗り入れ授業が松代中学校で行われた。授業者は松代中の数学担当者。小学校で学習する算数が、中学校で学習する数学につながることを実感させることをねらった授業である。

課題1 条件から1つの数量を求める。

パン屋さんにおつかいに行きます。友だちが次のことを教えてください。「メロンパン2つとカレーパン3つで540円だったよ。」「メロンパン4つとカレーパン3つで780だった。」この店のメロンパンは1個いくらでしょう。

授業者は、黒板に $\bigcirc\bigcirc\triangle\triangle\triangle=540$ 円、 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc\triangle\triangle\triangle=780$ 円と答を求めるためのヒントを掲示する。(実際には \bigcirc はメロンパンの形、 \triangle はカレーパンの形をした手作り教材である。)最初は個人で考える時間を設定し、児童は「あーでもない、こうでもない」と紙に様々な計算を試みる。しばらくすると、2つの式の \triangle の数が同じなので、 $\bigcirc\bigcirc$ と $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ の差額が780円から540円を引いた240円になることに気づく。そうするとメロンパン4つ買った方が2つ買った場合よりも240円高いので、1つの値段が120円になることを6年生は比較的容易に理解できた。

問題は、課題2を出した時に起こった。

課題2 2つの数量を求める。

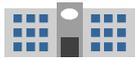
「メロンパン1個とカレーパン3個で480円」「メロンパン2個とカレーパン1個で410円」メロンパン、カレーパンそれぞれ1個の値段は?

児童は、課題1と同じようにしてそれぞれのパンの絵を使って計算をし始めた。しかし、課題1との大きな違いは、 $\bigcirc\triangle\triangle\triangle=480$ 円、 $\bigcirc\bigcirc\triangle=410$ 円と \bigcirc の数も \triangle の数も同じものがない。課題2に取り組み始めてしばらくは、全員が一言も話さず、答を求めるために考えていた。おそらく、今までの知識を総動員して答を出そうと頭をフル回転させていたのだろう。ほとんどの児童が顔を真っ赤にして取り組んでいた。

こうした中、一人の男子(以後A男と呼ぶ)が「答が出せない。分からない。」とわめき始めた。ある児童(以後B子と呼ぶ)が、前に出て、「 \bigcirc と \triangle の数が違うので、課題1のようにどちらかの数をそろえればいいのか」と考えを述べた。しかし、A男は、「う〜ん、でも分からない。」とあきらめ気味。そこで、授業者は、B子に「どういうことか図で説明してくれる?」と促す。B子が板書(A)を板書(B)のようにして \bigcirc の数をそろえると最初の問題と同じように計算できることを説明したところ、A

<p>A</p> $\bigcirc\triangle\triangle\triangle=480$ 円 $\bigcirc\bigcirc\triangle=410$ 円	→	<p>B</p> $\bigcirc\bigcirc\triangle\triangle\triangle\triangle\triangle=960$ 円 $\bigcirc\bigcirc\triangle=410$ 円	男は「分かった!!そうやってやればいいのか。」と頭の中で何かが閃いた様子だった。
---	---	---	--

中学校の学習は、具体から抽象の概念へ入っていくものを扱うことが多くなる。理科の原子・分子レベルの学習、数学の文字式を使った計算など数え上げればきりが無い。A男には、中学入学後、小学校で学習した内容が中学校の数学につながっていることに気づいてほしいと強く願う。算数・数学の乗り入れ授業では、具体と抽象の度合いを工夫すると効果的な授業ができることを実感し、中学校でも低位の生徒には、抽象をできるだけ具体化した説明をしてやるのが、授業改善及び学力向上に向けてヒントになるのではないかと感じた授業であった。



モデル中学校区7月の活動予定



日時 <内容>	会 場	見 どころ
2日(月) <企画委員会> 15:15～16:45	中里中学校	・1学期の取組、夏季休業中の研修を協議する会議を行います。
9日(月)～13日(金) <あいさつ運動週間> 7:45～8:05	①下条中学校前 信号付近 ②下条小学校前 信号付近	・縦割り班ごとに日を割り振り、左記の場所であいさつ運動を展開します。 今年度3回目の取組です。
9日(月)～13日(金) <中里っ子チャレンジウィーク>	中里中学校区	・生活リズム定着と家庭学習の習慣化を図ることを目的に取り組みます。
24日(火) <合同職員会議> 15:00～16:40	下条中学校 ランチルーム	・今年度2回目の合同職員会議です。1学期の取組の振り返りと2学期の活動の検討をします。
26日(木) <交流活動> 9:00～11:30	千手小 プール	・川西中学校区の小学5・6年生が一堂に会して親善水泳大会を行います。事前に小学生がボランティアの依頼に中学校に行き、当日は中学生がボランティア役員として活躍します。
30日(月)・31(火) <補充学習> 8:30～9:30	川西中学校 会議室	・中学校の夏休み補充学習の指導に小学校職員が協力し、数学を中心とした学習の支援を行います。